



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.151 2012年10月1日 支部長 緒方智子

秋空が広がる季節になりました。里山歩きでたくさんの「秋」を見つけました。ヌスビトハギ、ミソハギ、メドハギなどのハギの仲間にノコンギク、ヨメナ、などのノギクの仲間、ノブドウやウベ、アケビ、イタズソとしてヤマ芋の実のムカゴ・・・。春の野草も楽しいけど、秋の里山もいろいろな自然の恵みに出会います。今日は先日来の嵐で落ちた栗を拾ってきました。

みなさんはどのような秋をお楽しみでしょうか。

会報151号('12, 10月号)をお届けします。内容は以下の通りです。

- 1 秋例会案内
- 2 トラベリング報告1編
- 3 サーバス国際会議(GA)参加報告
- 4 サーバス九州会員情報
- 5 サーバス九州から
- 6 サーバス九州連絡先等

1.'12 秋例会案内(再掲)

秋例会が近づいてきました。お会いできるのが楽しみです。参加を思案中のみなさま、まだ、間に合いますので、どうぞご参加くださいませ。

佐賀はフルメンバーで参加予定です！

期日： 11月17日～18日(土、日)

集合場所と時間：国東市役所 安岐総合支所 12:00

昼食は500円位のお弁当。または見学地近くの食堂で団子汁。

コース： 1日目 ①熊野磨崖仏 ②富貴寺 ③川中不動、天念寺または長安寺、高山寺
2日目 Aトレッキングコース(中山仙峡) B神社仏閣参拝コース

旧千灯寺跡と五輪塔群はA・B一緒に行く予定

ホテル：「いこいの村国東」(今年のサイクリングセンターの近くのホテルです)

費用： 一人11,000円(1日目弁当、途中交通費、拝観料、夕食、宿泊、朝食を含みます)

申し込み：一次締め切り9月末 二次10月末 以下の内容を緒方までご連絡ください。

①参加者名 ②集合場所までの交通手段 ③1日目昼食の要・不要 ④2日目コースは上記AかBか

* 途中キャンセル・変更等があっても構いませんので、参加・不参加の予定を早めにお知らせいただくと担当者は、ホテル予約・車の手配・昼食の注文等で助かり

ます。よろしくお願いいたします。

2. サーバス旅行報告

フランスでの再会

長崎 (K. Y.)

数年前からサーバスのメンバーになった我が家には、毎年世界から多くのゲストが訪れます。フランスからきた M に出会ったのは昨年 の 10 月でした。母の作る料理を全てデジカメで撮り、英語の話せない父ともがんばって日本語で会話をしていました。日中は雨の降る長崎の町を歩き回り、沢山のことにひどく感動していた M はとても印象深い青年でした。

そして今年の夏、友人とともにスペインとフランスを旅行することになりました。早速、パリに住む M に連絡を取ったところ、快くデイホストを引き受けてくれました。もうすぐ夏休みも終わるという 8 月下旬、リクエストされた味噌ラーメンやカレーのルウをスーツケースに詰め、ヨーロッパへと旅立ちました。移動中は連絡手段がなかったため会えるのか不安でしたが、待ち合わせの場所に懐かしい顔を見つけたときはほっとしました。パリの地で会った彼は、以前と変わらずとても親切で、地下鉄の乗り方やスリに気をつけなければならないことなどを教えてくれました。ルーヴル美術館やエッフェル塔、凱旋門などにも人混みの中を案内してくれ、「写真を撮りなさい」とガイド兼カメラマンのようでした。英語がほとんど話せない友人には日本語で話しかけてくれ、彼女も「M がいてくれて本当に良かった」と感謝していました。日本とフランスの文化や生活、国民性の違いは多くありますが、M の存在があったからこそ、経験できたことや感じたことは数え切れないくらいです。これからもサーバスでの出会いを大切に、良い関係を築いていけたらなあと思います。

3. サーバス国際会議参加報告

ポーランド開かれたサーバスの国際会議にオブザーバーで参加してきました。ついでにヘルシンキも・・・今回は会議以外は全てサーバスステイ。その旅を報告します。(旅行期間：2012 年 8 月 15 日～28 日)

サーバス国際会議参加の旅

長崎 (T. O.)

参加動機

台北で開催された東アジア会議の時だったと思いますが、東北地区事務局さんから、「国際会議、おもしろいですよ。ぜひ、参加してみませんか」というお勧めを受けていたのを思い出し、他の用件もあって急遽参加を決めました。「1 週間もの会議っていったい何をやるんだろう？」と、ちょっと興味もありましたし、来年あたりに企画している若い仲間とのフィンランド、ポーランドツアーの下見にもなるし・・・と本来の参加主旨とは離れたところに参加動機があり、きわめて傍観者的、物見遊山的な気分での参加でした。しかし、参加してみて非常に楽しく、「行ってよかった」の感を強く抱いています。「下見」の方も有益な情報がたくさん入手できて満足度の高い旅になりました。国際会議そのものについては T 会長が報告記事をお書きになると思いますので、ここでは「国際会議参加の旅」として、旅の概略を書いてみます。

国際会議前にヘルシンキ訪問

関空を午前 10 時 45 分に出発してヘルシンキに、同日の 15 時到着(時差 6 時間)。ヘルシンキの空港にはサーバスのリッタさんが私の LOI をかざして家族で出迎えにきてくださっていました。すぐ自宅に行き、お茶をいただいた後、10 歳の息子さん・ローリィの柔道の練習を見に行きました。「レイ!」「モクソウハジメ!」「モクソウオワリ!」など、日本語が飛び交います。外国で柔道の練習を見るのは、私には初体験でした。夜は自宅のサウナへ。日本の温泉などについているサウナと同じかそれよりちょっと大きめのサウナで、リッタさんと「はだかのつきあい」をしました。自宅サウナの初体験です。サウナには家族で入ったり、友人たちと一緒に入ったりするそうです。コミュニケーションの場なんのでしょうか。

翌日の夕方はローリィの学校の保護者会について行きました。残念ながら、フィンランド語が全くわからず、あとでリッタさんに説明していただいて内容がわかる始末でしたが、うわさの"フィンランド教育"の現場に行つて、学校や教室環境を参観させてもらえたのが有益でした。

サーラと再会

彼女のことは、この会報でも大分の会員がサーバスの受け入れ報告として書いてくださいましたので紹介しましたが、そのサーラがリッタさんのお宅に会いにきてくれました。日本語が非常に得意で、日本大好きな「建築」を学ぶ女学生です。私が彼女に会ったのは 6~7 年前の大晦日の日、久志会員宅にお父さん・妹さんと一緒にステイされたときでした。それ以来、彼女は自分で何度も日本に来ています。6 月にも来日し、東北で震災後の片付けボランティアをしたそうです。サーラと再会を約束して会議の開催国であるポーランドに向けて旅立ちました。

ワルシャワへ

ヘルシンキからワルシャワまでの飛行時間は 1 時間 45 分。シェンゲン協定内の移動なので、ポーランド入国はきわめて簡単。す〜と外に出ってしまった感じでした。出迎えのサーバスメンバーとおしゃべりをしていると、ホストのジョアンナが愛用のクラッチでにこやかに登場です。彼女は若い会計士。タックスアドバイザーだそうです。サーバスユースと国際会議の実行委員会のメンバーです。「両方で大変でしたね。それにホストも・・・」。とねぎらったら、「いろんな人に会えてとっても楽しい!」という返事。「すごいな〜」。と感動。

ジョアンナのマンションには日本からの参加者である京都の H 会員と T 会員、奈良の T 会員夫妻そして私の 5 名が同宿です。すぐに夕食をとり、ワルシャワの旧市街へ。王宮前はライトアップされ、ストリートパフォーマンスもあつたりして縁日のように賑やか。たくさんの方がそぞろ歩きを楽しんでいました。ここで何人ものサーバスメンバーと出会い、挨拶を交わしましたが、まだ、誰が誰やらさっぱりわかりません。サーバスユースから引き続き参加の H さんと T さんは慣れたものです。すっかり溶け込んでいっちゃいました。

ワルシャワを訪れたのは今回で 3 回目でしたが、夜歩くのははじめて。最初に訪れたのは 1990 年の夏。前年の秋に民主化宣言がなされていましたが、今回のような開放感は感じられませんでした。

国際会議 General Assembly (GA)

会議の様子は日本サーバスの田中会長の報告文が出るとお思いますので、私は参加して得た「発見」や「感動」を 4 点あげてみたいと思います。

1 まず、「交流」を存分に楽しみました!

会議は中 1 日のエクスカージョンを入れて 1 週間。各国 1 票の議決権行使者以外はオブザーバー参加なので非常に気楽です。おもしろそうな会議に参加したり、ロビーでおしゃべりに興じたり、独自プログラムで walking やカヤックに参加したりして、いろんな方々との交流を楽しみま

した。(終始会議に拘束されている T 会長には申し訳なかったのですが・・・)。

2 いくつも「おもしろい!」と思ったり、「知らなかったな〜」と思うことがありました。

その①、それぞれのお国なまりの英語を一度期に聞いたことです。「Englishes というけど、まさにそうだ!。こんなチャンスってあまりないな〜」と一人で感動していました。

その②、お隣の方の名札に記されていた「Georgia」を見て、「えっ、これってアメリカの州名じゃない?」と不思議に思って手元のスマホで検索してみたら、黒海の東岸の「グルジア」でした。英語名は「ジョージア」で日本政府には「グルジアをジョージアに改めるよう要請」してある、とありました。一つ賢くなりました。

その③、アフリカのボツワナやザンビアは何度確認してもその位置をすぐに忘れてしまう私でしたが、今回、その地から見えていたメンバーと話をすることによって、人と国と地図上の位置が存在感をもって頭に焼きつきました。もうたやすくは忘れないでしょう。地図上だけだった国が、「あの Keretso の住むボツワナ、Clare のザンビア」になっていくのです。これが人と「出会う」ということか、と新たな発見でした。

3 会議の進め方が私にはとても新鮮でした。

帰宅後、サーバスインターナショナルのホームページを読んだら、会議は国連方式で進められることが書かれていました。事前に motion を出しておき、それを GA 中の作業部会(オブザーバーも自由に参加可)で整理し、全体会提出議案にしていくという進め方です。motion 提出者が他の motion との結合や取り下げを希望しなければ作業部会で反対意見が強くても全体会に提出できるという点や、会員数にかかわらず各国一票制という方式もおもしろいなと思いました。

4 最後はボランティアが「自然」「ふつう」という感じだったことへの感動です。

サーバスはボランティア団体ではありますが、この点に関しては「よくまあみなさん、えらいな〜」と感心のしどうしでした。毎日の news letter 発行、会議運営世話係、レクの企画等々すべて参加者からのボランティアグループで行われていくのです。

国際本部役員の選出は「根回し」で行われるのかと思ったらこれも立候補。締め切りまでに届けて、演説をし、フロアーの質問に答え、投票による選挙で決定です。

「自分の仕事をもちながらよくやるな〜」とあっけにとられました。ちなみに、今回、サーバスニュース(1週間)と国際会議(1週間)の2つの実行委員会を取り仕切った E は現職の女性英語教師だそうです。彼女はサーバス国際本部の Development 委員会のメンバーにも立候補し、当選していました。自分の仕事をしながら、片一方の手ではボランティアをやっている能力と社会体制。すごいな〜、脱帽です。

ハプニング——会議を中座

GA 後、私たちが2日間お世話になることになっている実行委員会のメンバーでもあるホストのボグダンさんが勤務する大学からの呼び出しで急きょワルシャワに戻らなければならなくなりました。彼は私たちにも一緒に車で帰らないかと誘ってくれるのですが、GA は金曜日と最終日の土曜日が残っていますし、H さんが周到に準備を進められた日本チームの出し物もまだでしたので、丁重にお断りしました。それでも彼は「娘が日本人に会えるのを非常に楽しみにしているのでみんなと一緒に泊だけではほとんど話せないと思うのでぜひ来てほしい」と熱心です。断りきれなくなって、私が一足先に GA を中断して一緒にワルシャワに戻ることにしました。深夜のドライブで自宅についたのは午前3時過ぎ。10歳のかわいい娘さんが自分の作った折り紙の工作物をもってすぐに挨拶に来てくれ、びっくりしました。「こんな時間まで待っていてくれたんだ〜!」。「娘が楽しみにしているから・・・」と熱心に誘ってくれたお父さんの気持ちがわかったような気がしました。

再びワルシャワへ

仕事に出かける彼について列車でワルシャワへ。車中でもポーランドのことをいろいろ説明していただきました。大学の研究室では大学院生が「3.11 福島原発事故後の気象上の変化に関する考察」論文を彼の依頼で PC を使って私にレクチャーしてくれましたが、悲しいかな専門用語があまりわからず、私には“猫に小判”の状態でした。わかったのは放射性物質の含有量がヨーロッパでも増加しており、さらなる監視が必要だということでした。彼がその院生と打ち合わせをしている間、私は近くにあるショパンミュージアムを楽しみました。新しい博物館ですが、いつまでいても飽きない、近代的でよく整えられた博物館でした。

彼の仕事が終わった後、ワルシャワ市内を案内していただきました。ショパンゆかりの建物やコルチャック先生が最後に子どもたちと一緒に歩いた道やユダヤ人ゲットーの跡など、彼が準備してくれた資料を元に詳しい説明を聞きながらゆっくり歩いて非常に充実した一日になりました。最後に行ったチョコレート専門店のホットチョコレートの味は最高でした！

農村地帯・ホストの実家へ

翌日の午前中は郊外の農村に住む彼の両親と妹さん一家を家族と一緒に訪問しました。初めての日本人客だそうで、歓待していただきました。

ポーランドは第二次大戦後、ソ連の傘下に入ることを余儀なくされましたが、農業政策ではソ連で施行されたような集団農場方式は採用されなかったそうです。代わりに食糧生産のために、荒れ地(と言っても平原です!)に入植し、そこに家を建て、農業を続ける意思を表明すれば土地は政府から与えられたそうで、彼の両親はそれに応じ、農業を始めたそうです。それで広い農場を所有されています。今、その一部に(といては広大です)、彼はたくさんの苗木を育てていました。定年退職後はそこに住んで果樹園を営むのが夢だそうです。まだ 40 歳なのに・・・。

昼からは近所に住む親せきの子どもたちも加わって賑やかになりましたので、持参していた折り紙で遊びました。そして前日買ってきていた寿司セットで“海苔巻づくり”をみんなで楽しみ、にわか“スシパーティ”をやりました。海苔巻きは夜のゲスト用に残しておくつもりが子どもたちの食欲で、すぐになくなってしまいました。申し訳なかったです。

“国際パーティ”ミニ版をホスト宅で

Piaski での GA を終え、京都の H さん、T さん、フランスの会長夫妻、トルコの会長の 5 人がボグダン宅にゲストとして合流です。ボグダン一家 4 人とゲスト 6 人が一堂に集い、新たな国際交流がはじまりました。食事の準備も片づけもみ〜んなでわきあいあい。奥さんのマゴージャは料理が得意でいろいろなものを用意してくれましたが、トルコのサルージャも負けていません。スーパーで買って来た材料で、あっという間にベジタリアン料理をつくりました。京都の H さんも持参した寒天でサラダをつくり食卓へ。大きいテーブルは瞬く間にインターナショナルな料理が並び、フランスから持参のサーバー付ワインで一同、乾杯！ 楽しいひとときでした。

ホスト宅滞在中にみんなで作曲家兼外交官であったオギンスキーの生家 **Guzow Palace** (修復中) や第一次大戦の犠牲者の墓地を訪ねました。更にショパンの生家である **Zelazowa Wola** で日曜日恒例のショパン曲の生演奏を楽しみ、広い庭を散策してゴージャスなひとときを過ごしました。

最後に——人との出会い

学ぶことの多かった GA 参加でしたが、何と言っても人との出会いが一番でした。ホストは言うまでもなく、多くの方との出会いや再会に感動を覚えました。この「人とのつながり」、これこそがサーバスの魅力なのだと思います。

正直なところ、「国際会議」に参加するなど、考えてもいなかった私でしたが、今回参加してみて、「もっと早くこんな会に参加しておけばよかった」、というのが正直な感想です。

楽しいし、多くの学びや出会いが魅力的です。デリゲート(議決権行使者)は重責で大変でしょうが、それ以外はオブザーバー参加ですので、気が楽です。

会議は 3 年ごとの開催です。次回の開催地にニュージーランドと南米のコロンビアが立候補し

ていますので、そのどちらかになるのではないかと思います。サーバスユース（年齢制限無し）は毎年開かれているそうです。こちらも「楽しかった!」、という感想をお聞きしています。みなさんも参加を検討してみられてはいかがでしょうか。「百聞は一見にしかず」です。

4. サーバス九州会員情報

1 長崎に仲間が増えました!

Toshiko さんです。住所・電話番号・PC メール等必要な場合は支部長までどうぞ。

早速、1月付けで入会予定の方と一緒に、オーストラリアからクルーズ船で長崎に見える会員のデイホストをしていただきます。

2 福岡の T さんが世界一周旅行中です。

4月から世界旅行中だった T さんが、9月に旅行を中断していったん帰国、また10月から旅行開始です。今回は5ヶ月余を一人旅の予定。

4月の支部会議の折、旅行報告を行っていただくことになりました。みなさま、お楽しみに!

3 サーバス九州現況：会員数 59（家族）

<内訳 大分15、熊本6、佐賀5、長崎8、福岡12、宮崎13>

5. サーバス九州から 3点

1 少し早めのお知らせですが、12月に以下の2点についておたずねいたします。

①ご自分のホストリスト記載事項に変更希望はありませんか。ホストリストをごらんいただきチェックをしておいていただけたらと思います。例会の折におっしゃっても構いません。

②受け入れトラベラーをまとめておいてください。

a)名前 b)国名 c)訪問期日

2 サーバス旅行をされた方、旅行者を受け入れてくださった方、ぜひ、報告のメールまたはフックスをお願いいたします。会報で紹介していきます。

(これは前号でも書きましたが、よろしく願いいたします。トラベリングに関しては報告用紙がありますが、メールの方が便利ではないかと推測し、差し上げておりません。字数・形式は自由です。お寄せください。)

3 サーバス案内の「独自散らし」発行について、よい提案はありませんか。気軽にみなさんにお勧めできるチラシタイプの「サーバス入会の案内」みたいなものがないかな～と思っています。お知恵をお貸しください。

6. サーバス九州連絡先

発行日:2012年10月1日 (151号) 発行者: サーバス九州支部長 緒方 智子

住所: 〒859-6305 長崎県佐世保市吉井町直谷1270-7